

「あぶた」本格オープン 会もよる

地 場産品直売センター「あぶた」(福島浩二理事長)が5月28日、入江の国道37号沿いに本格オープンし、人気を博しています。

前を一人ひとり表示するなど、消費者にアピールする展示方法で、売り上げアップを目指しています。

「あぶた」では、1日50食限定のウニ丼とレークヒルファームのアイスクリームを目玉商品にして、その他旬の野菜や花、水産加工品などを販売しています。また農作物には生産者の名

オープン前日の27日には、関係者約50人を招待してお披露目を開催し、福島理事長が「仮オープン中は予想を上回る売り上げがあったが、これから本番。多くの人が来てもらえる施設として、一歩一歩進んで生き

たい」と挨拶。

この後、目玉商品のうに丼とアイスクリームが振舞われ、出席者は、その味覚を堪能していました。

営業時間は、10月末までは午前9時～午後6時で月曜日が定休日。11月～3月は、土日のみ営業で午前9時～午後5時となっています。☎76-5501。



「あぶた」オープンのテープカット



節目登頂を喜ぶ門馬さん(前列右から2番目)

門間さん34年かけて 羊蹄山200回登頂

青葉2区在住の門間利美さん(74歳)が、6月19日200回目の羊蹄山(標高1,898m)登山を達成させ、仲間と喜びをかみしめていました。

門間さんが羊蹄山を初登頂したのは40歳の時で、それから1999年に、100回を達成し、2002年には150回を記録しました。

節目となった当日は、午前5時に全道の山仲間約40人と真狩村の登山口から出発。約6時間かけて山頂に到達しました。

「今度は250回をめざして登山を続けたい」と語る門間さん。挑戦はまだまだ終わらないようです。

蛇高バレー部と蛇小エアリアル 全道大会の切符つかむ

蛇

田小学校のバレーチーム「蛇田エアリアル」(笹森恭之監督)と蛇田高校女子バレーボール部(八田正人監督)の選手たちが、6月9日役場を訪れ、長崎町長に地区大会の優勝と全道大会への抱負を述べました。

エアリアルは、登別で開催された25回ペシカップ全日本小学生バレーボール大会室蘭地区予選大会で優勝し、チーム創立6年目にして初の全道大会進出を決めました。

一方蛇田高校バレー部は、同高で開催された高体連室蘭支部予選会で、全校応援を背に25年ぶ

り3度目の優勝を果たし、全道大会への切符を手に入れました。

長崎町長は「この調子で全道大会でもがんばって来てくださ」と両チームのメンバーを激励し、蛇高の渡邊志緒里主将と蛇小の岩間文香主将が全道大会への抱負を述べました。

なお6月16日から開催された高体連全道大会で、蛇田高校は高体連ではベストの準々決勝まで進みました。

また、蛇田中学校女子バレー部も胆振西部地区中体連大会で優勝し、胆振地区大会への進出を決定。全道大会への切符も見えてきました。



25年ぶりの優勝を決めた蛇田高校女子バレー部



初の全道へ蛇小「エアリアル」